

MANUAL

キックボード

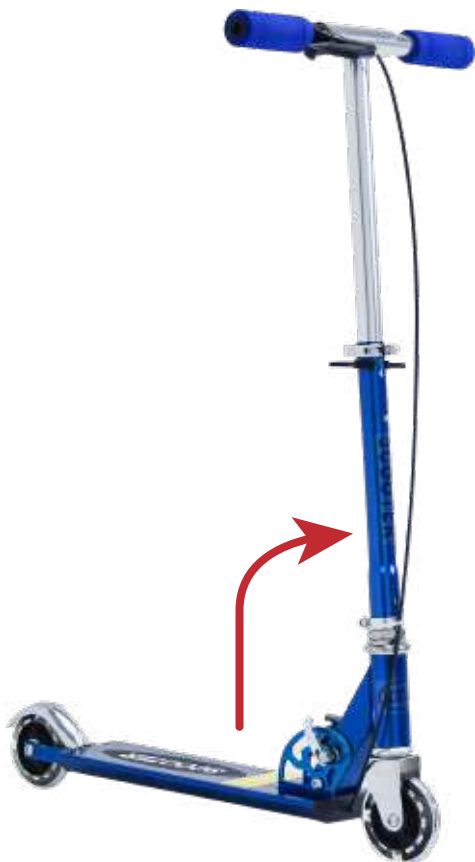


組み立て手順



A、B、Cの順で組み立てます。

A1: ハンドルの展開



A2: ハンドルの固定



レバーを中間位置にします。



ネジを締めます。



手のひらでしっかり押し込み
固定します。



- 組立のコツ POINT**
- レバーは大人の方が簡単に開けない程度に強く締めてください。
 - レバーが緩いとぐらつきの原因となります。

B: ハンドルの高さ調節



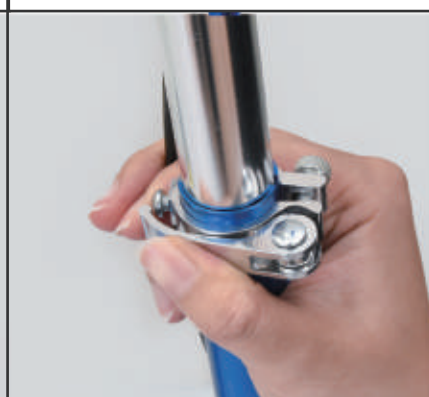
レバーを起こします。



ハンドルを引き出します。



ロックは押し込むと解除でき
ます。



お好みの高さに調節したら、
レバーを倒してロックします。

C: グリップの組立



ストッパーを押しながらグリップを差し込みます。



カチッと音がしてロックされます。



ブレーキワイヤーが絡んでいないか確認して完成です。

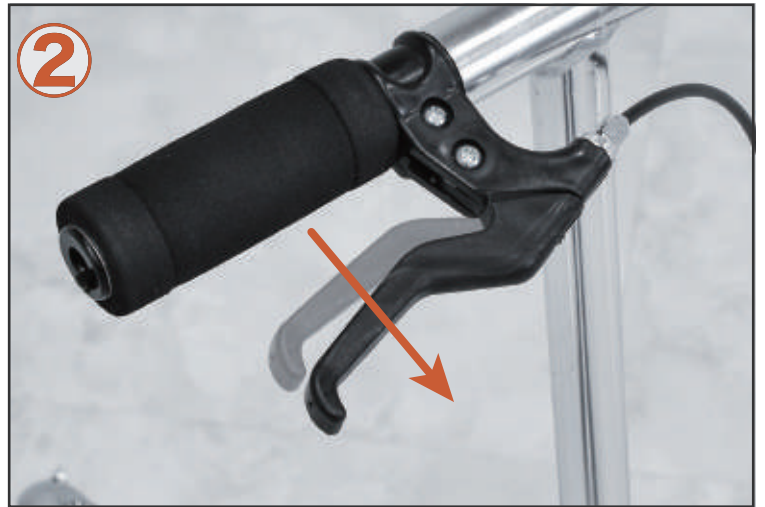
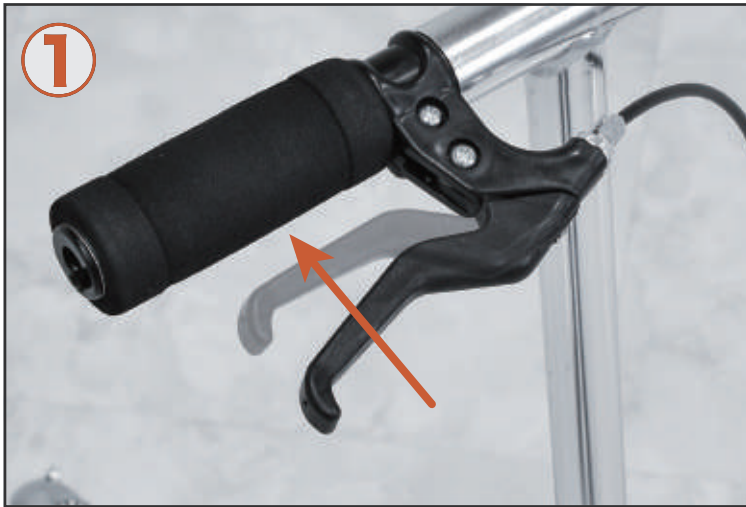
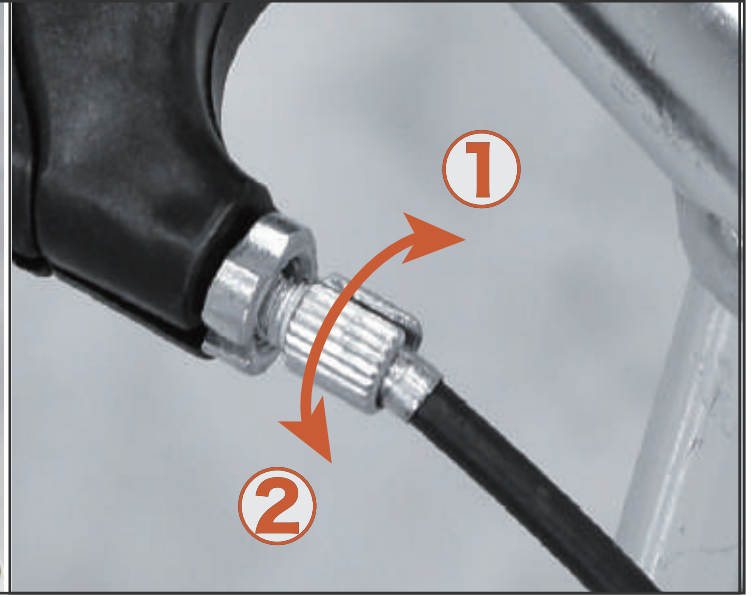


■ブレーキワイヤーが絡んでいる場合、ハンドルを回すと解くことができます。

完成



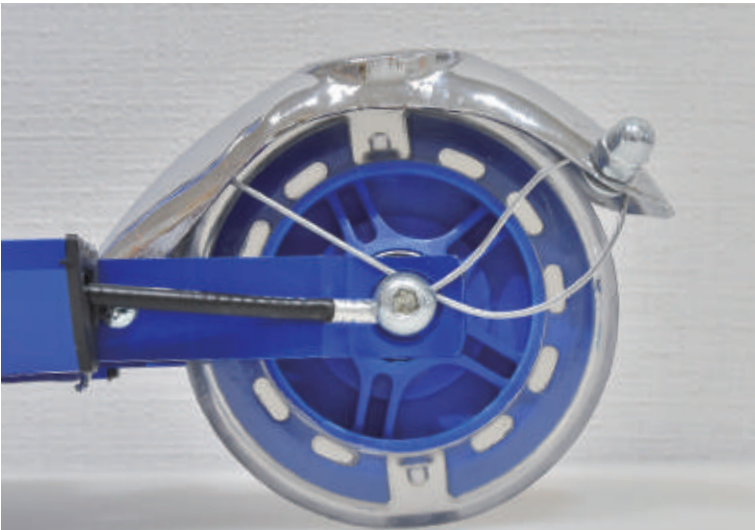
ブレーキレバーの調整



レバーに指が届かない場合、①の方向に回して調整してください。

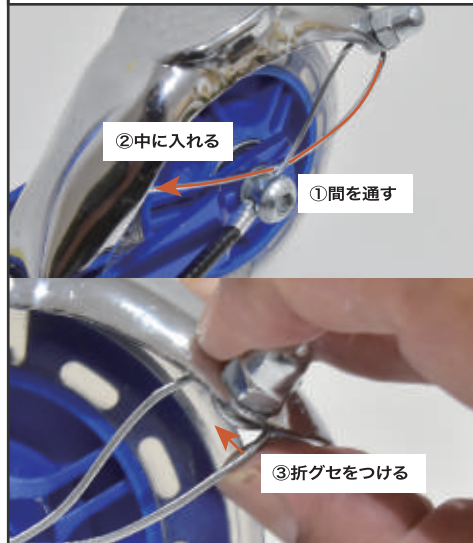
使用前にご確認ください

ブレーキワイヤーが正しい形で収納されていることをご確認ください



正しい収納状態

収納されていない場合



①ブレーキワイヤー先端をワイヤー元とフレームの間に通します。

②ブレーキワイヤー先端を銀色のカバーの中へ差し込みます

③ブレーキワイヤー固定部を押して折グセをつけ完成です



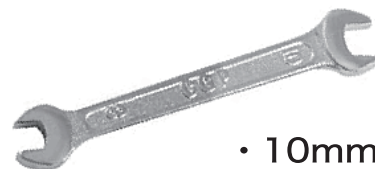
正常な状態

必要な工具

*別途ご用意ください



六角レンチ



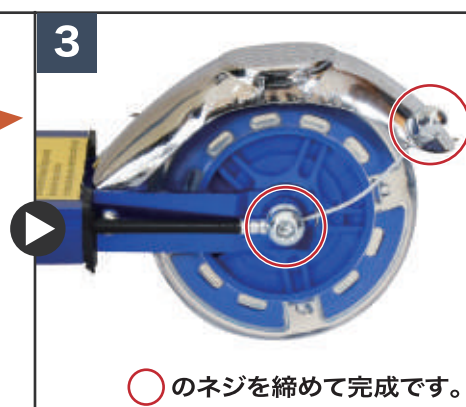
・ 10mm スパナ



○のネジを緩めます。



○のワイヤーを引っ張ります。



○のネジを締めて完成です。

レバーを引いてもブレーキが効かない場合に調整してください。



ブレーキが効かない状態

カバーの浮き

レバーを引いてもタイヤにカバーが触れないので
ブレーキが効きません。

ワイヤーのたるみ、曲がり

抵抗が増えるので、レバーが引けなくなります。

*極稀に製造時の組み立て不良や輸送時の振動で効かない状態となっている場合があります。